

## 2020 日本パッケージングコンテスト 王子グループ入賞作品のお知らせ

王子ホールディングス株式会社(社長:加来正年、本社:東京都中央区)は、公益社団法人日本包装技術協会主催の「2020 日本パッケージングコンテスト」において、王子グループから 12 作品が入賞致しましたことをご知らせいたします。同コンテストは、優れたパッケージとその技術を開発普及することを目的として実施されております。

今後も王子グループの総力をあげ、これまでに培った技術を生かしながら、新しい発想を加えた新製品開発と提案によって、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

### ■ジャパンスター賞 / 経済産業大臣賞

#### 『自動包装システム「CartonWrap」を使用した輸送箱の最適化包装』

佐川グローバルロジスティクス(株)／アルテック(株)／王子コンテナ(株)／王子ホールディングス(株)



インターネット通販における課題の一つに、注文ごとに異なる商品の数、形状に対し、いかにコンパクトに外装段ボールに収納するかがあり、資材使用量だけでなく輸送効率にも大きな影響を与えている。この課題を解決するため、個々の注文ごとに梱包サイズを最適化し、自動梱包作業が可能なシステムの導入を行ない、輸送効率改善、顧客の配送費低減に貢献した。

### ■包装技術賞 / テクニカル包装賞

#### 『「Eco Marine Tac™」「エコマリンタック』

王子タック(株)



シール・ラベルを主な用途とする生分解性バイオマスフィルムを使用した粘着シートである。生分解性フィルムの分解(土壌・海洋)を阻害しにくい独自開発の粘着剤を使用することで、粘着シートとして最大限の分解度を引き出すものとした。シール・ラベルとしての性能は、一般的な紙製のものより高い耐水性を有し、また、PET フィルムや PP フィルムと同等の印刷適性を有すことから、脱プラスチックとして紙素材へ代替した場合に生じる意匠性の変化や耐水性の低下を軽減することが可能である。

### ■包装技術賞 / 適性包装賞

#### 『Sawaday クルマ専用クリップ包装仕様エコ化&生産性向上』

小林製薬(株)／王子パッケージング(株)



機能性はもちろんのこと、高い意匠性が求められる日用品・トイレタリー製品のパッケージにおいて、新包装仕様を開発した。従来のプリスターパッケージで製品を挟み込む仕様をやめ、ラベルで貼り合わせる仕様にする事で、台紙とプリスターのサイズを半分にすることができた。また、今までの手作業での生産から、台紙にセットした状態でコンベアに流すことで、ラベラーでの貼り付けが可能となり、工数の削減が達成できた。

## 2020 日本パッケージングコンテスト 王子グループ入賞作品のお知らせ

### ■包装技術賞 / ロジスティクス賞

#### 『HONDAe 電気自動車量産化に向けた大型バッテリー包装資材の開発』

本田技研工業(株) / ムサシ王子コンテナ(株)



電気自動車のリチウムイオンバッテリーは大型かつ重量物である。この補修部品の交換作業を安全におこなえるよう補助する機能（スクイズ性）を付与した包装資材を開発。従来の資材レイアウトを一新し、紙管を主とした「ブロック組立方式」により、安全性を確保しながら資材単価・重量・資材製造工数を削減した。

### 『海外向け自動車部品コンソールボックス集合包装の改善』

スズキ(株) / 王子コンテナ(株)



輸出向け自動車用コンソールボックスは、1 ケースに 24 個収納して輸出していたが、1 製品ごとに発泡 PS と PE 保護シートを使用しており、資材コストと梱包作業に課題があった。そこで製品を交互に並べ、表に出ない製品の内側で固定することで、変形・擦れ・接触を防ぎ、さらにプラスチック材料の使用を大幅に削減し、資材点数、包装体積も削減した。

### ■包装部門賞 / POP/店頭販売包装部門賞

#### 『パンフレットスタンド』

(株)エム・ディー・エス / 福山森紙業(株)



アパレル系店舗用にパンフレットスタンドを開発。手に取っていただけるよう興味を引く特徴的な形状をしています。組み立て式のため、取りやすい高さ調整でき(最大約 1m)、各店舗へはコンパクトに発送することができます。商品のイメージに合わせて、ディスプレイされているマネキンのそばに置くことで、演出のアクセントとなります。

### 『鹿が食べても害が少ない「鹿紙(しかがみ)」を使用した紙袋』

(株)ナカムラ / (株)ならイズム / 文洋堂 / 千代田明和ダンボール(株)



奈良公園周辺に生息する国の天然記念物「奈良の鹿」が、人が捨てたポリ袋を食べて死亡するケースが多発していることを受け、鹿が食べても害が少ない「鹿紙(しかがみ)」を使用した紙袋を開発した。鹿せんべいの材料でもある奈良県産の米ぬかと牛乳パックの再生パルプを配合して作られ、鹿が食べたとしても日本食品分析センターにて安全性を確認済。奈良市観光協会、奈良中央信用金庫が鹿紙の導入を決めるなど、共感の輪が広がりつつある。

## 2020 日本パッケージングコンテスト 王子グループ入賞作品のお知らせ

### ■包装部門賞 / 工業包装部門賞

#### 『ノートPCバッテリー用発送箱／緩衝材』

森紙業グループ



一般顧客向けバッテリー交換用の往復箱の設計を行った。全国へ発送（空輸・船便含む）できる梱包仕様、再梱包の容易さも考慮した。バッテリーサイズが荷札より小さく、形状が左右非対称のため、巾を確保しつつ固定でき、容易に梱包・返送できる緩衝材の仕様とし、ペロの差し込みだけで開梱・再梱包可能とした。外箱は荷札が貼れる最小サイズとした。

#### 『うるるユニット用化粧パネルの包装設計』

ダイキン工業(株)／王子コンテナー(株)



業務用無給水加湿ユニット「うるるユニット」用パネルという平らな製品のオール段ボール包装を設計開発した。貼り加工の不要な緩衝材と、テレスコープ形（0300）の外装箱とを組み合わせ、緩衝材は組立・製品へのセットも容易なものを4コーナーに配置した。前後左右上下の6方向を効果的に緩衝保護でき、1種類に共通化も実現。製品保管段積数も20段を実現した。

### ■包装部門賞 / 輸送包装部門賞

#### 『縦型カップ麺(20食)易開封ケース』

日清食品 HD(株)／王子コンテナー(株)



縦型カップ麺の輸送箱は、1ケースに20食入りが主流であるが、高さが低くサイズも大きく開封しにくい。このためカットテープやジッパーカットを使用しているが開封作業には慣れが必要であり、また廃棄時にカット部が残り手間となる。そこで易開封マシン目と罫線加工により、開封作業時間を約85%、また開封から解体までの作業時間を約40%削減し、廃棄時の切れ端発生も防止した。

#### 『一発開封！タピオカミルクティー』

安曇野食品工房(株)／王子コンテナー(株)



カップ飲料の段ボール梱包は、流通時の商品保護はもちろん、短時間で開封・品出し・陳列・廃棄作業ができることを求められる。新開封形状では、天面の半円切込み部分に指を入れ、一気に引き上げるだけで天面開封が可能。作業時間はわずか『2秒』。単純な形状のため、直感的に開封手順がわかるのもポイント。開封作業による端材が発生せず、廃棄も容易となった。

---

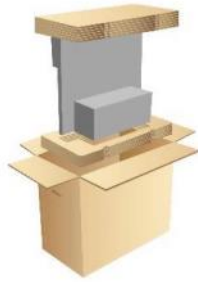
## 2020 日本パッケージングコンテスト 王子グループ入賞作品のお知らせ

---

### ■包装部門賞 / 大型・重量物包装部門賞

#### 『脱プラスチック化を実現した梱包箱』

王子インターパック(株)



従来製品の包装は、緩衝材に発泡プラスチックを使用しており、発注や資材置き場などが課題となり、SDGs と物流トータルコスト削減の視点で改善を行った。外装と内装にハイプルエースを使用し脱プラスチック化、段積みを可能として保管スペース及び輸送効率を改善、さらにリターナブル運用で年間物流コストをトータル27%削減することができた。

本件に関する問い合わせ先
王子ホールディングス株式会社 広報IR室 TEL:03-3563-4523 E-mail: <a href="mailto:oji-holdings@oji-gr.com">oji-holdings@oji-gr.com</a>